

### Ⅲ 平成 26 年度 事業計画

#### 1 活動方針

東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故から早 3 年を迎えた現在も、被災地域の社会生活基盤の回復や災害廃棄物の処理は依然収束に至っておりません。また、我国の原子力発電所が全て停止する中、電力供給の約 9 割が化石燃料由来となり、燃料コストの増加や化石燃料の枯渇問題の高まりから、再生可能エネルギーを含めた多様な供給源の確保が喫緊の課題となっております。

このような社会情勢の中、私たち地方自治体においては、日々ごみ焼却により市民の生活環境の保全を図るとともに、ごみ焼却熱エネルギーを発電・熱供給という形で有効活用し、省エネルギーの推進に資することで、循環型社会の形成の一翼を担うべく邁進してまいりました。

さて、循環型社会形成推進基本法に基づき、平成 25 年 5 月に閣議決定された廃棄物処理施設整備計画においては、目標を総発電能力から発電効率へ切り替え、地域の廃棄物処理システムの省エネルギー・創エネルギー化に貢献していくとの方向転換が示されました。さらに、平成 25 年 6 月に再編成された総合資源エネルギー調査会基本政策分科会においては、再生可能エネルギーを大幅に導入する方向でエネルギー基本計画の見直しが進められ、平成 26 年 4 月の閣議決定では「3 年程度、再生可能エネルギーの導入を最大限加速し、その後も積極的に推進」と位置付けられました。

このような状況を踏まえ、廃棄物処理施設が社会的要請に答えていくためには、交付金制度を積極的に活用し、高効率ごみ発電設備の導入やストックマネジメントによる長寿命化の推進、効率的な設備の機能保全を図っていく必要があります。また、老朽化した廃棄物処理施設が多数存在する中、適切なタイミングで廃棄物処理施設の更新・改良を行うことで、一般廃棄物処理システムの強靱性を確保していかなければなりません。

一方、ごみ焼却発電による電気料金や燃料費の削減、売電・売熱収入の確保は、地方自治体が抱える財政問題の面からみて、廃棄物処理施設運営経費の節減策にもなっております。

ごみ焼却発電による売電事業では、平成 24 年 7 月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」による政策面での下支えをはじめ、今後各種の電力システム改革が予定される中、環境に適応した効率的かつ効果的な運用が求められております。

以上のことから、本協議会は会員相互の技術や知識の研鑽、的確かつ時宜に適った情報発信などを目指し、次の方針に基づいて活動するものとします。

- (1) 廃棄物処理や熱回収の技術・事例についての研修会開催、会員の技術発表及び会員相互の情報交換を積極的に行っていく。
- (2) 廃棄物処理の経済性向上のため、法改正や各種施策を注視しながら、国・電力会社などに対し売電、電気需給条件の改善や発電能力増強に対する支援強化を引続き要請していく。

## 2 定期協議会・技術研修会

(第1日目)

日時 平成26年5月29日(木) 13時00分から17時00分

場所 福岡市 アクロス福岡 7階 大会議室

(1) 講演会

- ① 講演 「強靱なエネルギー回収型廃棄物処理施設の整備の推進等について」  
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課調査係長 金井 信宏 様
- ② 講演 「スマートコミュニティについて」  
九州経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 課長補佐  
谷川 重美 様

(2) 定期協議会

- ① 平成25年度 事業報告(案)
- ② 平成25年度 決算報告(案)
- ③ 平成25年度 会計監査報告(案)
- ④ 平成26年度 事業計画(案)
- ⑤ 平成26年度 予算(案)
- ⑥ 平成26年度 要望書(案)
- ⑦ 新役員の選出・新役員紹介(会員異動紹介含む)

(第2日目)

日時 平成26年5月30日(金) 9時30分から15時00分

場所 福岡市環境局 臨海工場

(1) 技術研修会

- ① 報告 「DBO方式による(仮称)新南部工場の建設」  
福岡都市圏南部環境事業組合 事務局 建設課機械係長 飯干 智希 氏
- ② 報告 「松山市南クリーンセンターにおける発電量増加への取組み」  
松山市環境部清掃施設課南クリーンセンター 寺村 吉史 氏
- ③ 報告 「新武蔵野クリーンセンター(仮称)における災害に強い施設づくり」  
武蔵野市環境部クリーンセンター 新クリーンセンター建設担当 神谷 淳一 氏
- ④ 報告 「固定価格買取制度等に関する余熱協意向調査結果の報告」  
東京二十三区清掃一部事務組合 施設管理部技術課発電係 木本 徹 氏

(2) 施設研修会

福岡市環境局 臨海工場

### 3 幹事会

#### 第1回定例幹事会

日時 平成26年4月18日(金) 14時00分から17時00分

場所 東京区政会館 14階 入札室

内容 議題

- ① 平成25年度事業報告(案)
- ② 平成25年度決算報告(案)
- ③ 平成25年度会計監査報告(案)
- ④ 平成26年度事業計画(案)
- ⑤ 平成26年度予算(案)
- ⑥ 平成26年度定期協議会・技術研修会について(案)
- ⑦ 平成26年度会費納入について(案)
- ⑧ 平成25年度地区協議会活動報告及び会計報告(案)
- ⑨ 平成26年度地区協議会事業計画及び予算(案)
- ⑩ 平成26年度定期協議会・技術研修会開催都市について(案)
- ⑪ その他

#### 臨時幹事会

日時 平成26年5月29日(木) 11時30分から12時00分

場所 福岡市 アクロス福岡 7階 701会議室

内容 議題

- ① 平成26年度定期協議会・技術研修会議事について
- ② 幹事の役割分担について
- ③ その他

#### 第2回定例幹事会

日時 平成26年11月21日(金) 14時00分から17時00分

場所 東京区政会館

内容 議題

- ① 平成26年度余熱協議会事業中間報告
- ② 平成27年度定期協議会及び技術研修会について
- ③ 平成26年度地区協議会活動中間報告について
- ④ その他

### 4 地区協議会

平成26年度中 1~2回開催予定

## 5 専門委員会

定例幹事会にて調査事業検討部会を実施します。

## 6 未加入団体への加入呼びかけ

社団法人全国都市清掃会議からの紹介その他種々の機会をとらえ、各地区会を通じて未加入団体への加入呼びかけを行うとともに、定期協議会開催地区内の未加入団体に対し定期協議会に招待するなど、会員獲得に向けて勧誘活動を行います。

## 7 要望書等の提出について

ごみ発、余熱の有効利用等に関する循環型社会形成推進交付金制度や固定価格買取制度について、国などの関係機関に改善を要望していきます。平成 26 年度については、平成 25 年度に作成した要望書案について定期協議会で議決をとり、その後速やかに関係機関に提出します。

## 8 平成 26～27 年度 行事予定

定期協議会及び技術研修会を合わせて年一回開催します。

- ① 平成 26 年度 定期協議会及び技術研修会 開催地 福岡市
- ② 平成 27 年度 定期協議会及び技術研修会 開催地 広島市（予定）

## 9 ホームページの運用について

平成 23 年度にリニューアルした当協議会のホームページについて、さらなる会員相互の情報連絡交流の円滑化やごみ焼却施設に対する社会的価値の向上などを図っていくため、掲載内容などの充実、整備を継続していきます。

ホームページURL：<http://www.yonetsukyo.jp/>

※ホームページには、活動内容・施設一覧・会則資料・連絡事項等を掲載。